



令和2年11月16日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

グローバルサイエンスキャンパス（GSC） 令和2年度全国受講生研究発表会開催 受賞者を発表

JST（理事長 濱口 道成）は、グローバルサイエンスキャンパス（GSC）令和2年度全国受講生研究発表会を、オンラインで10月23日（金）から11月15日（日）に開催し、文部科学大臣賞以下、優秀賞を決定しました。

GSCは、世界を舞台に活躍できる科学技術系人材の育成を目的として、卓越した意欲と能力を持つ高校生を対象に、各地の大学等で国際的な活動を含む高度で体系的な育成プログラムを開発、実施する取り組みです。JSTが平成26年度より推進する事業で、本年度は約720人が受講しています。

第7回目となる発表会では、同事業を実施している全国17の機関（「情報科学の達人」育成官民協働プログラム実施機関および過去に実施していた4機関含む）で学んだ受講生46人が計44件の発表を行い、日頃の研究活動の成果を披露しました。

次世代の科学者に求められる科学的探究能力の獲得度合いや、研究の専門的達成水準のほか、研究の意義や貢献を適切にアピールできたかなどについて審査を行った結果、文部科学大臣賞1件、科学技術振興機構理事長賞1件、審査委員長特別賞2件、優秀賞8件が選ばれました。

グローバルサイエンスキャンパス推進委員会副委員長の隅田 学 愛媛大学 教授は大会の総評を次のように述べています。「全国の才能あふれる生徒が、コロナ禍においても自分の研究を高いレベルで継続しており、大変うれしく思います。個性豊かな研究が発表され、表現力も高く、科学技術のグローバルな発展の加速に明るい展望を抱きました。ピンチをチャンスに変えることができるようなリーダーに成長してくれることを願っています。」

<添付資料>

別紙：グローバルサイエンスキャンパス（GSC）令和2年度全国受講生研究発表会
受賞者一覧

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 理数学習推進部
〒332-0012 埼玉県川口市本町4-1-8 川口センタービル
小泉 輝武(コイズミ テルタケ)、ラオ ちぐさ
Tel：048-226-5669
E-mail：[gsc\[at\]jst.go.jp](mailto:gsc[at]jst.go.jp)

グローバルサイエンスキャンパス（GSC）
令和2年度全国受講生研究発表会 受賞者一覧

※以下、発表番号、実施機関、発表者、学校名、学年、発表テーマの順。

■文部科学大臣賞

D-5 静岡大学 谷澤 文礼 開成高等学校 高3
睡眠はショウジョウバエの新奇な食物臭への嗜好性に寄与する

■科学技術振興機構理事長賞

D-16 宇都宮大学 遠藤 颯 栃木県立小山高等学校 高2
栃木県にて採取された大型陸生貧毛類の未記載種

■審査委員長特別賞

A-1 広島大学 亀田 あかり 広島大学附属高等学校 高3
一筆書きとメビウスの輪

E-30 東京大学 千田 小春アリシア 広尾学園高等学校 高3
間葉系幹細胞が血管新生に与える影響とそのメカニズム

■優秀賞

A-2 金沢大学 新 太陽 金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校 高2
多面体の分解合同

B-3 九州大学 坂本 百香 福岡県立筑紫丘高等学校 高2
熱起電力向上の新たなアプローチ

D-14 琉球大学 平良 建史朗 沖縄県立那覇国際高等学校 高2
サンゴの産卵時期は人為的に変えられるのか？～ウスエダミドリイシ（*Acropora tenuis*）の性ステロイドホルモン合成経路の解明からのアプローチ～

E-24 東北大学 佐藤 綺海 秋田県立秋田高等学校 高3
東北大学 柴田 理央 秋田県立秋田高等学校 高2
突然変異を抑制する物質の探索

E-31 大阪大学 鶴田 一葉 帝塚山高等学校 高1
酵素を用いた糖鎖切断による、血液型変換の可能性

F-33 筑波大学 田中 拓海 岐阜県立可児高等学校 高2
ワニ類2型における四肢骨からの全長推定—化石種への応用—

H-36 国立情報学研究所（共同機関：情報処理学会、情報オリンピック日本委員会）
菅野 楓 早稲田実業学校高等部 高2
観光地評価システム

I-39 金沢大学 狐塚 天音 北陸学院高等学校 高2
ウルトラファインバブルと超音波を組み合わせた光合成細菌の殺菌

<文部科学大臣賞受賞者コメント>

谷澤 文礼（タニザワ フミノリ）さん（開成高等学校3年）

発表タイトル「睡眠はショウジョウバエの新奇な食物臭への嗜好性に寄与する」

「このような光栄な賞をいただきありがとうございます。最初、何も分からない状態からご指導いただいた竹本先生、家で数万匹のハエを飼育することも寛容に受け入れてくれた家族、FSS事務局（静岡大学GSC事務局）の皆さま、GSC関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。」

以上